

総合的な学習の時間 第2学年 年間指導計画 (中学校 70時間)

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
探究課題	地域の防災・地域戦略を他地域と比較し、様々な人とつながり、地域に発信しよう											
単元名	・「佐伯の未来創造」～防災・減災の視点で他地域と比較し、佐伯の良さや課題を発見する中で、ふるさとの未来を創造しよう！ ・未来の佐伯を担う人づくりをする上級学校について知ろう！（70時間）											
ねらい	佐伯の自然や文化、産業や観光、防災・減災などについての探究的な学習を通して、50年後消滅都市となることなく多くの人が豊かに暮らす町とするための現状と課題を明らかにし、主体的に解決する方法やふるさとの良さを考えて、地域の中で育つ自分とのかかわりを理解するとともに、積極的に活動しようとする態度を育てる。											
計画	学習活動（小単元1）			育成を目指す資質・能力			学習活動（小単元2）			育成を目指す資質・能力		
	<p>【情報の収集】 ○防災・歴史・食文化・平和・文化、産業等の中から佐伯と対比させて探究したいテーマを絞り、共通して調査できる内容について情報収集を行う。 【整理・分析】 ○佐伯が現在抱えている課題について、解決のヒントとなるようなテーマを特徴とした全国の取組や町おこしについての特徴をまとめる。 ○さらに設定した課題について、現地調査によって絞り込むための情報の整理を行う。 【まとめ・表現】 ○現地調査に向けて、移動経路や調査方法について事後の情報分析、発信を視野に入れて計画を作成しまとめる。 【課題の再設定】 ○佐伯の未来を創造するために必要な人・物・ことの課題を明らかにし、焦点化する。 【情報の収集】 ○現地調査を行い、先進的な取り組みについて、人物にふれて情報を収集する。 【整理・分析】 ○整理分析したことから、「佐伯であれば」という視点に立って、解決すべき課題を明らかにする。 【まとめ・表現】 ○解決策の提言やPR方法をプレゼンする。 【振り返り】 ○早急な解決策の実行が現在の佐伯には必要であり、そのために自分たちが活動しなければならないことを確認する。</p>			<p>ICTを活用したり、GTの話などから課題を見出す。(B①) 目的に応じて手段を選択し、情報を収集している。(B②) 課題を明らかにするために、事象を比較したり因果関係を推測したりして考える。(B③) 視点を決めて多様な情報を分析する(B③) 歴史や地理を考慮しながら効率の良い計画を策定する(A) 学んだことを積極的に生かし、主体的に活用しようとする(C②) 探究課題を絞り込む(B①) 班員と共同し調査を行うとともに、自己の感性を生かした調査活動を行う。(C①) 異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。(C①②) 目的に応じて情報発信方法を工夫する(B④) 郷土への誇りから意欲を喚起させる(C③) 学習の仕方を振り返り、今後の学習活動の見直しを持つ(B④)</p>			<p>【情報の収集】 ○適性や自己理解を進めるためのアンケート調査を行い、情報を収集する。 ○これまでの自分史を振り返り、これからの学びの方向性を展望する。 【整理・分析】 ○収集した情報から、未来の自分像をイメージ化する。 ○働く意義を6観点で分析し、方向性を決定する。 ○「適性がある」「関連性が低い」等の視点を決めて座標軸で分析し、進路選択の方向性を考える。 【まとめ・表現】 ○地域での学ぶ意義や内容についてまとめ、上級学校の特色を整理する。 【課題の再設定】 自己と地域のかかわりの中で、より深く調べ、明らかにすべき課題を設定する。 【情報の収集】 ○地域の高校が地域に根差した分野で人材を育てようとしている内容について、情報を収集する。 【整理・分析】 ○地域の産業や職場と関連付けて高校に求められていることを整理する。 【まとめ・表現】 ○自分目線でまとめた高校調べを、新聞形式で発信する。 【振り返り】 ○佐伯で育ち佐伯で学ぶことに喜びを感じ、自分の生き方を考える。</p>			<p>課題設定のために、適切に情報を収集する(B②) 課題吟味のための自己理解を進める(C①) 視点を決めて多様な情報を分析する(B③) 的確な情報を基に分析したもののおから、方向性を見出す。(B①) 特色ある学校づくりを進める背景と相手や目的に応じて、意図を明確にして表現する。(B④) 地域貢献と社会からの要請と自分とのかかわりを考える力を身につける(C③) 異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。(C①②) 的確な情報の提示と受け取り手が理解しやすいまとめ方を工夫する(B④) ふるさとと自分との関わりを肯定的にとらえる(C①)</p>		
各教科等との関連	<p>国語・・論理の展開や材料の活用B、目的に応じて情報を整理し活用する力B 社会・・産業と地域の特色、地理的利点と産業の発展を関連付けて考える力A 歴史や文化の共通点やちがいを考察し、まとめる力B 理科・・調べて記録する技能A、具体的な事例に関わり科学的に探究しようとするC 技術・・ICT機器を活用した情報の整理・分析・発信A 数学・・人口や経済にかかる数値をグラフ化するなどの情報分析能力A 道徳・・郷土を愛し、地域文化に誇りを持つC 保体・・自然災害発生時の行動B、実習を通じ応急手当を理解し判断通報の行動とれるABC</p>						<p>国語・・論理の展開や材料の活用B 主体的に情報を協働して収集し、共通点や相違点を主体的に判断する態度C 社会・・人々の営みと、教育行政を関連付けて、行政の役割の中に課題を見つけるB 理科・・SSHなど特色ある学校づくりを理解するための基礎知識A 道徳・・地域で学ぶことに郷土愛を感じ、これまでの伝統を尊重するとともに、佐伯から世界へと意欲を高める態度C 学活・・入試制度や学制が地域に果たす責任やその中にある課題を見出す力B</p>					

※育成を目指す資質・能力・・・

A：知識及び技能 B：思考力、判断力、表現力等 ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現
C：主体的に学習に取り組む態度 ①自己理解・他者理解 ②主体性・協働性 ③将来展望・社会参画